

見いつけた

令和3年度
立山町立釜ヶ淵小学校
第1学年 学年だより
5月号

「本物」の力って…

入学して2週間くらいたったころ。「あさの おひさま」という詩を学習しました。

あさの おひさま
あさの おひさま おおきいな
のっこり うみから おきだした

あさの おひさま あかい かお
ざぶんと うみで あらったよ



ひらがなや「あいうえお」の発音練習から、短い文章について聞き合う学習に変わったことで、自分もいよいよ小学生の仲間入りなのだとは張り切った表情で臨んだ時間のことで

す。「どんなおひさまなのかな」と尋ねたところ、OさんやUさんは、「朝は、眠たいお日さまです」と言ってきました。自分も、朝は眠たいので、そのようにイメージしたのでしょう。それを聞いていたKさんやHさんは、「朝は、すっきり起きられるお日さまです」「でも、まぶしいと思っている」と、対照的な考えを言ってきました。どの考えも、自分の朝の様子を思い起こしながら考えた発言でした。

それでは、みんなでどちらなのか、考えてみようということになりました。やがて、2連目の「ざぶん」に目を付けた子供たちは、お日さまは眠たいから顔を「ざぶん」と洗ったに違いないということに落ち着きました。

ところが、Mさんが急に「お日さまは、最強だ」と言い始めたのです。これには、周りの子供たちも、理解できなかつたのでしょう。「なんで?」「意味、分からん」とざわめき始めました。無理ありません。お日さまから強いイメージを受ける言葉は、この詩のどこにも書いてなかつたのですから。

そこで、子供たちは、Mさんに説明を求めました。Mさんは、友達に自分の考えを分かってもらいたいと、熱心に語り始めました。「太陽は、地球の周りを回っているんだよ。ぐるりと回っていて、朝になると、海から出てくるんだよ。海は、水。太陽は、火。火は水に、ジュッと消されるのに、なんで海から出てくるの。だから、ぼくは最強のお日さまだと思った」と。

図鑑を見れば、天動説は間違いで、地動説が正しいことが書いてあります。でも、Mさんの目には、太陽は自分の周りを回っているのです。また、日常生活で、火が水に消される現象から、海から出てきて顔を洗うお日さまは消えなければいけないのに、消えないことから最強だと関連付けたのでしょう。

このような姿から、自分の生活で体験したり目で捉えたりした証拠を基に考える「本物の力」の基盤を築こうとしているのだなと、頼もしく感じました。

いろいろあったよ

3週間もない短い4月でしたが、いろいろな集会や行事がありました。



1・2年生交通安全教室

駐在さんと交通指導員の方から、横断歩道の渡り方や安全な歩行の仕方について、教えてもらいました。

横断歩道の前では、しっかり一時停止し、右・左・右と確認することや、手を挙げて渡ることなど、一人一人に分かりやすく丁寧に指導してもらったおかげで、安全に気を付けて、道路を横断することができるようになりました。

小学生では、7歳の子供が一番よく事故に遭うことから、「ふざけないで、交通ルールをしっかり守り、自分の命は、自分で守る」ことを教えていただきました。お家でも、安全に登下校するよう声をかけてあげてください。お願いします。

1年生となかよくなろう集会



児童会が中心になって、1年生を歓迎するミニ集会を開いてくれました。子供たちは、自分の名前と好きな物を全校のみんなにお知らせしました。

どの子も、しっかりとした口調で、言うことができました。みんなから、温かい心のこもった拍手をしてもらい、うれしい表情をしていました。



学校図書館紹介

山多司書さんから、学校図書館の使い方について、説明してもらいました。説明を聞いた後から、一人2冊の本を実際に借りました。バーコードを読み込む時の方法やどの棚にどんな本があるのかなど、実際に見たりやったりしながら、覚えました。



本を読むことは、とても大切なことです。①心が豊かになる、②語彙が増える、③新しい知識や知恵を得ることができるなど、お子さんにとって、大きな力になってくれます。

学校では、毎日読書に親しむよう、習慣付けをしていきます。お家の方でも、毎日10分程度の読書の時間を設けてあげてください。